

高知県感染症発生動向調査（週報）

2020年 第4週 （1月20日～1月26日）

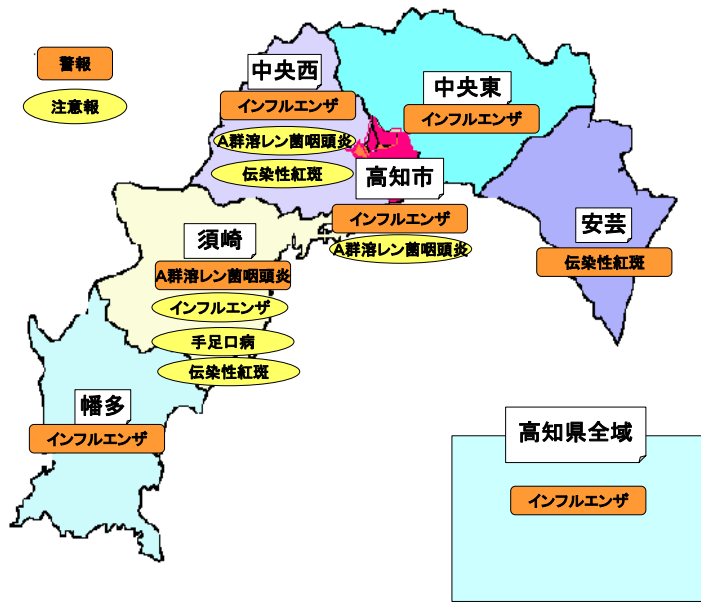
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増
 ↗：増加
 →：横ばい
 ↘：減少
 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↗	33.83	中央東で急増、県全域で増加し、県全域、幡多、中央東、中央西、高知市では警報値を、須崎では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	↗	4.07	須崎、中央西で急減していますが、安芸で急増、県全域、中央東、幡多、高知市で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	2.90	須崎、中央西で急増、県全域、高知市で増加し、須崎では警報値を、高知市、中央西では注意報値を超えています。
伝染性紅斑	↗	0.67	安芸、中央西、須崎、中央東で急増、県全域で増加し、安芸では警報値を、中央西、須崎では注意報値を超えています。
手足口病	→	0.40	高知市で急減していますが、中央西、中央東で急増し、須崎では注意報値を超えています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

咳エチケット

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。



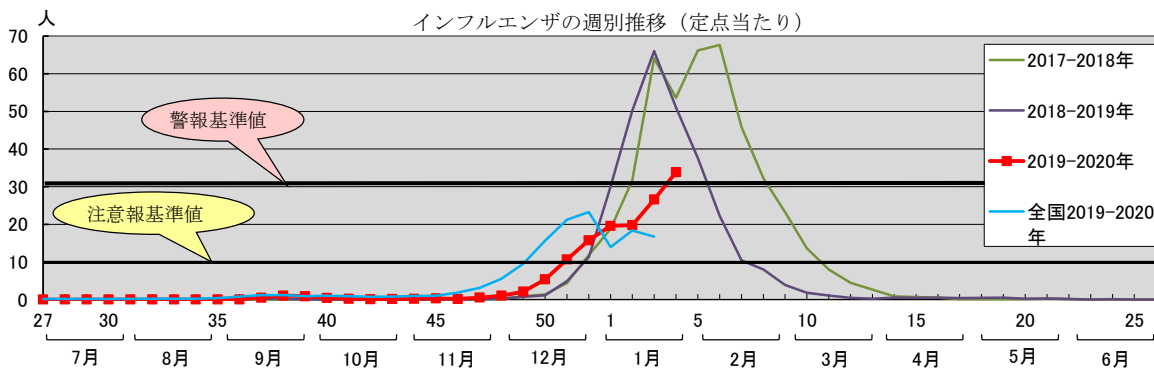
★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○インフルエンザが増加し、県全域で警報値を超えています

学校等における集団発生の報告では、休校、学年閉鎖、学級閉鎖の報告が続いています。

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザ A 型 1,508 件、B 型 57 件に加えて、A 型・B 型同時検出 2 件、不明 48 件の報告があります。

インフルエンザは、流行期にはいつていますので、外出後の手洗いを心掛けましょう。また、症状のある方は、咳エチケットで感染対策し、早めに医療機関を受診しましょう。感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。



高知県保健所別の定点あたり報告数と警報・注意報レベル状況（2020年第4週）

	第4週		第3週		第2週		第1週		第52週		第51週		第50週	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
高知県全域	33.83	△	26.58	○	19.77	○	19.56	○	15.73	○	10.65	○	5.35	-
安芸	8.50	-	8.25	-	6.75	-	10.75	○	6.50	-	0.25	-	0.75	-
中央東	37.82	△	18.91	○	16.82	○	13.91	○	11.91	○	6.55	-	2.00	-
高知市	30.69	△	26.81	○	19.56	○	27.00	○	22.63	○	13.75	○	3.63	-
中央西	34.40	△	33.00	△	27.40	○	18.60	○	14.20	○	17.80	○	26.40	○
須崎	22.00	○	20.50	○	20.75	○	14.50	○	8.75	-	6.25	-	5.50	-
幡多	52.88	△	44.88	△	25.50	○	20.00	○	16.25	○	13.00	○	2.50	-
全国			16.73	○	18.33	○	13.93	○	23.24	○	21.22	-	15.62	○

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

学校等における集団発生

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
学級閉鎖	第4週	—	4	8	1	2	1	16
	累計	—	4	23	4	2	2	35
学年閉鎖	第4週	2	3	4	2	1	4	16
	累計	4	4	4	6	3	10	31
休校	第4週	—	—	—	1	—	—	1
	累計	—	—	—	2	—	1	3

＜予防方法＞ 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

【学校感染症】

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では、出席停止期間の基準が「発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日（幼児にあっては、3 日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第 2 種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないとして規定されています。

●厚生労働省 「インフルエンザ総合ページ」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infulenza/index.html

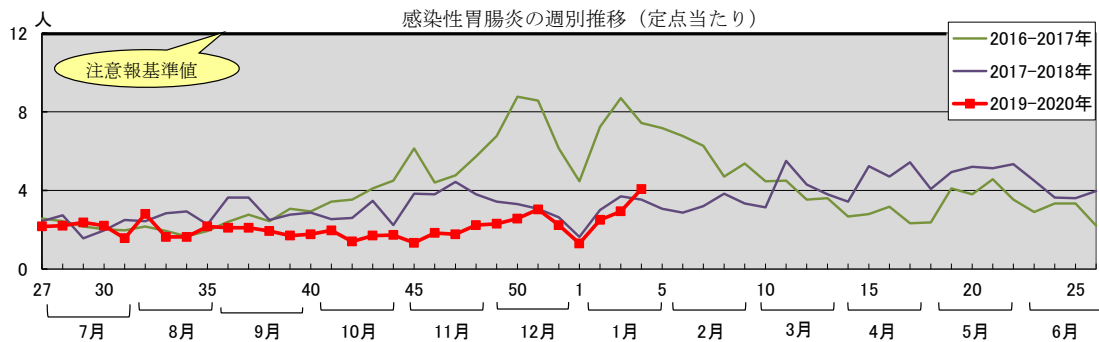
○感染性胃腸炎に気を付けて！

この病気は、ウイルス又は細菌などの病原体により嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。

潜伏期は、ノロウイルスは12～48時間程度、その他のウイルスは24～72時間程度、細菌は数時間～5日程度です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1年を通じて発生していますが、特に冬場に流行します。発症してから通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長い時には1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。



<予防方法> 手洗いが有効です

- ・帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。
- ・ウイルスによる感染性胃腸炎では便や嘔吐物を処理する時は気を付けましょう。（ノロウイルスについてアルコール消毒は無効です）

感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう

【学校感染症】

感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないとして規定されています。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

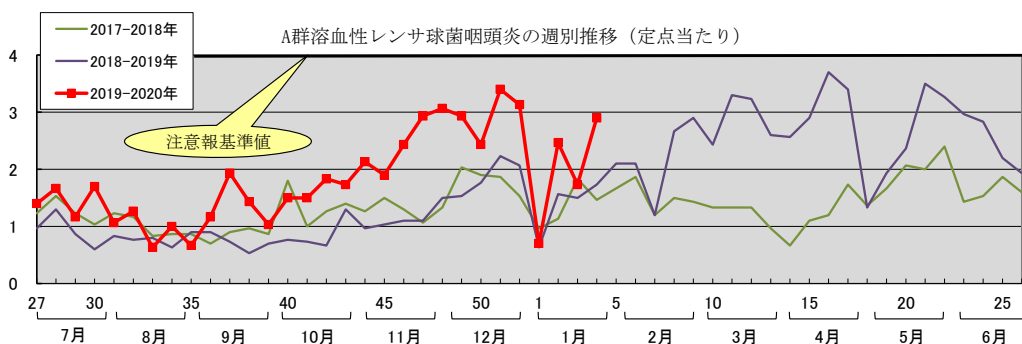
●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

この病気はA群レンサ球菌による上気道感染症です。

典型的な症状は、2～5日の潜伏期を経て、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などがみられます。1週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる全身症状を呈することがあります。



<予防方法> 手洗い、咳エチケットが有効です

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

【学校感染症】

A 群溶血性レンサ球菌感染症は学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では、出席停止期間の基準が「適正な抗菌剤治療開始後 24 時間を経て全身状態が良ければ登校可能」と規定される学校感染症（第 3 種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないと規定されています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
4	インフルエンザ	39℃,	2	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09
4	インフルエンザ	40℃,咳嗽,関節痛,	12	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
4	インフルエンザ	38℃,	9	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
4	インフルエンザ	40℃,咳嗽,	10	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
4	インフルエンザ	39℃,	10	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
4	インフルエンザ	39℃,	10	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
4	インフルエンザ	39℃,嘔吐,嘔気,咳嗽,	40	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
3	インフルエンザ	39℃,咳嗽,上気道炎,	5	女	高知市	Adenovirus 1
3	—	38℃,嘔吐,嘔気,	2	男	中央東	Coxsackievirus A4
						Adenovirus 1
3	不明熱	40℃,下痢,咳嗽,	1	男	須崎	Adenovirus 1
3	手足口病	発疹,	2	女	須崎	Coxsackievirus A16
3	手足口病	37℃,下痢,発疹,	2	男	須崎	Coxsackievirus A16
3	手足口病	37℃,発疹,	2	女	須崎	Coxsackievirus A16
3	手足口病	38℃,発疹,	1	男	須崎	Coxsackievirus A16

<国内のインフルエンザウイルス検出状況>

国内のインフルエンザウイルス検出状況は、今シーズン直近 5 週（2019 年第 52 週～2020 年第 4 週）では、AH1pdm09 の検出割合が最も多く 92%（204 件）、次いで B（ビクトリア系統）が 7%（15 件）、AH3 が 1%（2 件）となっています。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所	
5 類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	90 歳代 男	高知市	
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	4	70 歳代 女		
		1		90 歳代 女	幡 多	
	百日咳		1	5	5～9 歳 女	高知市
			1		10～14 歳 女	幡 多
			1		10～14 歳 女	

★定点医療機関からのホット情報

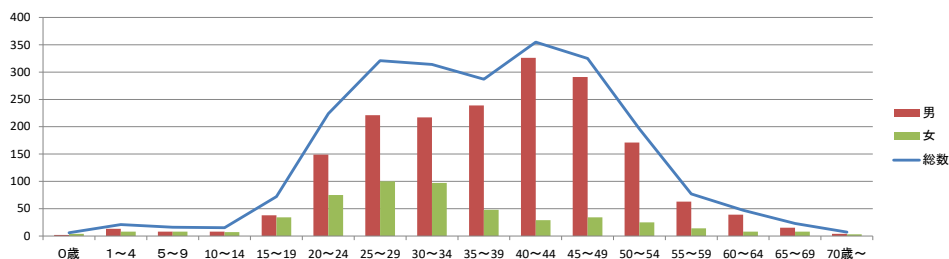
保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	hMPV 急性気管支炎 1 例 (4 歳男)
中央東	おひさまこどもクリニック	アデノウイルス咽頭炎 1 例 (8 ヶ月男) 第 3 週：カンピロバクター腸炎 1 例 (9 歳男)
	高知大学医学部付属病院小児科	hMPV 気管支炎 1 例 (1 歳女)
	早明浦病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 1 例 (10 ヶ月男) インフルエンザ 30 例 (A 型 28 人、B 型 1 人：3 歳～11 歳)
	野市中央病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (12 歳男) インフルエンザ 12 例 (全例 A 型：ワクチン接種済み 6 人)
高知市	高知医療センター小児科	ノロウイルス胃腸炎 1 例 (1 歳男) hMPV 1 例 (3 歳女) インフルエンザ A 型 4 例
	けら小児科・アレルギー科	ノロウイルス腸炎 4 例 (1 歳 2 人、2 歳 2 人) 病原性大腸菌 O-25 腸炎 1 例 (5 歳) 病原性大腸菌 O-1 腸炎 1 例 (2 歳) カンピロバクター腸炎 1 例 (8 歳) hMPV 気管支炎 1 例 (2 歳) マイコプラズマ肺炎 1 例 (9 歳)
	三愛病院小児科	hMPV 4 例 (1 歳男、1 歳女 2 人、3 歳男) アデノウイルス感染症 1 例 (1 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ 33 例 (A 型 32 人、B 型：1 人) 溶連菌感染症 7 例 インフルエンザ A 型と溶連菌の同時感染 2 例 (10 歳男女) ヘルパンギーナ 1 例
	細木病院小児科	ノロウイルス 5 例 (10 ヶ月女 2 人、1 歳男、1 歳女 2 人)
中央西	石黒小児科	インフルエンザ 25 例 (A 型 24 人、B 型 1 人)
	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ 62 例 (A 型 47 人、B 型 15 人 内ワクチン接種済み 5 人：5 歳男、8 歳女、10 歳男女、12 歳女)
	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎 1 例 (11 歳男)
須崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎 3 例 ノロウイルス胃腸炎 2 例 溶連菌の流行続く 16 例 手足口病 8 例 (同一保育園) インフルエンザ 58 例 (全例 A 型)
幡多	こいけクリニック	ノロウイルス胃腸炎 3 例 (2 ヶ月男、1 歳女、2 歳女) インフルエンザ A と B 同時検出 1 例 (11 歳女)
	さたけ小児科	アデノウイルス 1 例 (2 歳男) 百日咳 (LAMP 法陽性) 1 例 (11 歳女) インフルエンザ 185 例 (A 型 182 人、B 型 3 人)

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2019 年の累積報告数は 2,306 人、2020 年第 1 週～第 3 週の累積報告数は 19 人となっており、2019 年の報告数のうち 94% (2,176 人) が成人で、30 歳から 50 歳代の男性を中心に (男性 1,804 人、女性 502 人) に報告数の多い状態です。

2019年累積風しん報告数(年齢別・性別)



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

対象者・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）
- ・風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布
1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）

検査結果：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします

厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成30年8月17日付け30高健対第859号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- 1) 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- 2) 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生環境研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しんの追加的対策関係：医療機関・健診機関向け手引き（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00003.html

●風しん Q&A 2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

●衛研ニュース第20号（高知県衛生環境研究所）30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2020年1月27日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第4週 令和2年1月20日(月)～令和2年1月26日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(3週)	高知県(4週末累計)		全国(3週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				R1/12/30~R2/1/26	R1/12/30~R2/1/19		
インフル エンザ	インフルエンザ	34	416	491	172	88	423	1,624 (33.83)	1,276 (26.58)	83,037 (16.73)	4,788 (99.75)	238,815 (49.15)		
小児科	咽頭結核熱			1		1	4	6 (0.20)	4 (0.13)	1,063 (0.34)	32 (1.07)	3,379 (1.09)		
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		4	51	12	16	4	87 (2.90)	52 (1.73)	7,723 (2.44)	234 (7.80)	17,629 (5.69)		
	感染性胃腸炎	10	33	50	1	5	23	122 (4.07)	88 (2.93)	18,976 (5.99)	324 (10.80)	43,560 (14.07)		
	水痘		1	4		1		6 (0.20)	6 (0.20)	939 (0.30)	23 (0.77)	3,947 (1.27)		
	手足口病		2		1	9		12 (0.40)	13 (0.43)	479 (0.15)	35 (1.17)	1,446 (0.47)		
	伝染性紅斑	4	2	9	3	2		20 (0.67)	11 (0.37)	1,607 (0.51)	58 (1.93)	4,079 (1.32)		
	突発性発疹			5	2			7 (0.23)	5 (0.17)	959 (0.30)	24 (0.80)	2,258 (0.73)		
	ヘルパンギーナ			1			1	2 (0.07)	()	59 (0.02)	4 (0.13)	203 (0.07)		
	流行性耳下腺炎			1		2		3 (0.10)	()	174 (0.05)	6 (0.20)	422 (0.14)		
	RSウイルス感染症			4	3		1	8 (0.27)	3 (0.10)	863 (0.27)	31 (1.03)	2,543 (0.82)		
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	4 (0.01)	()	15 (0.02)		
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	()	292 (0.42)	2 (0.67)	914 (1.35)		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	5 (0.01)	1 (0.13)	16 (0.03)		
	無菌性髄膜炎							()	()	11 (0.02)	()	24 (0.05)		
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.13)	5 (0.63)	158 (0.33)	10 (1.25)	450 (0.94)		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	()	1 ()		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	4 (0.01)	1 (0.13)	20 (0.04)		
計 (小児科定点当たり人数)	48 (15.50)	458 (43.82)	619 (42.14)	194 (41.73)	124 (40.00)	456 (59.48)	1,899 (42.94)			116,353	5,573 (125.45)	319,721		
前週 (小児科定点当たり人数)	41 (12.25)	231 (22.19)	515 (34.17)	178 (37.33)	114 (36.50)	384 (49.88)		1,463 (32.64)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

第4週

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(3週)	高知県(4週末累計)		全国(3週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				R1/12/30~R2/1/26	R1/12/30~R2/1/19		
インフル エンザ	インフルエンザ	8.50	37.82	30.69	34.40	22.00	52.88	33.83	26.58	16.73	99.75	49.15		
小児科	咽頭結核熱			0.09		0.50	0.80	0.20	0.13	0.34	1.07	1.09		
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		0.57	4.64	4.00	8.00	0.80	2.90	1.73	2.44	7.80	5.69		
	感染性胃腸炎	5.00	4.71	4.55	0.33	2.50	4.60	4.07	2.93	5.99	10.80	14.07		
	水痘		0.14	0.36		0.50		0.20	0.20	0.30	0.77	1.27		
	手足口病		0.29		0.33	4.50		0.40	0.43	0.15	1.17	0.47		
	伝染性紅斑	2.00	0.29	0.82	1.00	1.00		0.67	0.37	0.51	1.93	1.32		
	突発性発疹			0.45	0.67			0.23	0.17	0.30	0.80	0.73		
	ヘルパンギーナ			0.09			0.20	0.07		0.02	0.13	0.07		
	流行性耳下腺炎			0.09		1.00		0.10		0.05	0.20	0.14		
	RSウイルス感染症			0.36	1.00		0.20	0.27	0.10	0.27	1.03	0.82		
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.02		
	流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.42	0.67	1.35		
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.13	0.03		
	無菌性髄膜炎									0.02		0.05		
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.13	0.63	0.33	1.25	0.94		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)													
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.01	0.13	0.04		
計 (小児科定点当たり人数)	15.50	43.82	42.14	41.73	40.00	59.48	42.94			125.45				
前週 (小児科定点当たり人数)	12.25	22.19	34.17	37.33	36.50	49.88		32.64						

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2020年 第4週)

